

INFORMATION

No. 2020. 14
2020年8月

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用
いただきたくご案内いたします。
当センターにおきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしく
お願い申し上げます。

謹白

記

■ 実施日 2020年8月31日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

| 項目コード | 検査項目 | 検体量 (mL) | 容器 | 保存 (安定性) | 所要 日数 | 実施料 判断料 | 検査 方法 | 基準値 (単位) | 備考 |
|-------|---------------|-------------|----------------|-------------|----------|------------|----------|-------------|------|
| 2901 | 尿中スチレン 代謝物 | 部分尿 2 | ②0滅菌尿用 スピッツ | 冷蔵 (14日) | 5~15 | | HPLC | (g/L) | 裏面参照 |

■ 検査中止項目

| 項目コード | 項目名 | 受託中止日 |
|-------|---------|---|
| 4792 | 尿中マンデル酸 | 2020年6月29日(月) ご依頼分をもって受託中止と させていただきます。 |



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

●尿中スチレン代謝物

特化則の改正によりスチレンの暴露を評価する測定を開始いたします。

特定化学物質障害予防規則（特化則）が一部改正され、令和2年7月1日より施行されることとなります。特別有機溶剤に係る特殊健康診断の項目のうちスチレンの暴露状況を評価するための検査として、「尿中マンデル酸の測定」から「尿中マンデル酸及びフェニルグリオキシル酸の総量の測定」へ変更となります。

これに伴い、尿中スチレン代謝物として、尿中マンデル酸及びフェニルグリオキシル酸とその合算値を報告する検査を受託開始いたします。

なお、本検査においては、分布報告はいたしません。予め、ご了承願います。

▼疾患との関連

特殊健康診断

▼関連する主な検査項目

尿中馬尿酸
尿中メチル馬尿酸

▼検査要項

| | |
|-----------|---|
| 検査項目名 | 尿中スチレン代謝物 |
| 項目コードNo. | 2901 |
| 検体量 | 部分尿 2mL |
| 容器 | ②0滅菌尿用スピッツ |
| 保存方法 | 冷蔵保存してください |
| 所要日数 | 5~15日 |
| 検査方法 | HPLC |
| 基準値 | (g/L) |
| 検査実施料・半断料 | |
| 備考 | 週末の作業日の作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。 測定値は、マンデル酸（MA）、フェニルグリオキシル酸（PGA）および合算値（MA+PGA）です。 生物学的許容値：0.43（g/L）以下です。（生物学的許容値とは、ほとんどすべての労働者に健康上の悪い影響がみられないと判断される濃度です。） 依頼件数によって、所要日数が変動いたします。 |

●有機溶剤・鉛関連検査結果分布表

| 対象物質 | 測定項目 | 単位 | 分布 |
|------|--------------|-----|--------------|
| スチレン | 尿中スチレン代謝物 ※1 | g/L | 分布報告はいたしません。 |

※1：測定値は、マンデル酸とフェニルグリオキシル酸の合算値です。

●検体取扱い方法

週末の作業日の作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。

●参考文献

岸浪 菊江子, 他: 臨床化学 17 (3): 128~135, 1988. (検査方法参考文献)
日本産業衛生学会: 産衛誌 49 巻: 188~196, 2007. (臨床的意義参考文献)